

第2回目 北野の里(仮称)まちづくりワークショップ

ゾーニング素案について



平成28年11月27日

ゾーニング作成に向けた新たな検討の論点整理

テーマとキーワードの連環



ゾーニング作成検討の論点

- ① 蓋かけ上部空間等と周辺地域との**一体的なまちづくり計画の検討**
- ② 空間配置においては施設整備を中心とした**利用プログラムの検討**
- ③ 将来の公園運営（自主的活動や**維持管理を視野に**）の**方向性の検討**

地域環境特性の整理

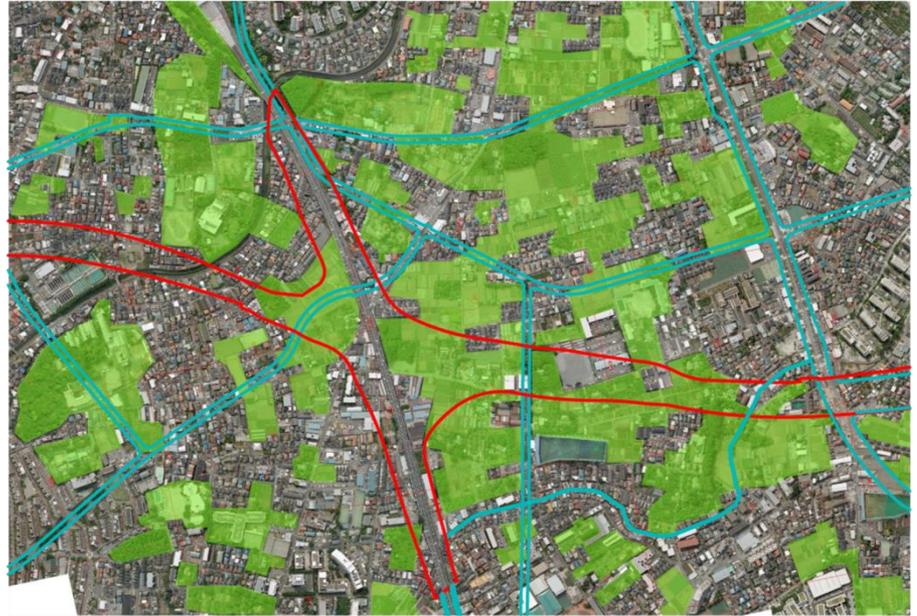
歴史的特性



- 三鷹村北野は55軒の農家、大正時代は畑（麦、さつまいも）や養蚕（冬の副業）、昭和初期に養蚕から野菜畑へ、仙川の湧水で鰻が獲れた。
- 吉祥寺通り（都道117号線）は二間半道路、荷車で甲州街道へ出ていた。
- 北野町会では、お神輿、盆踊り、運動会、防犯活動などを行い、農業を媒介に良好なコミュニティが育まれてきた。
- 北野スポーツ広場や北野遊び場広場は、地域の子どもたちが自由な発想で遊ぶことができる貴重な場所であった。

地域環境特性の整理

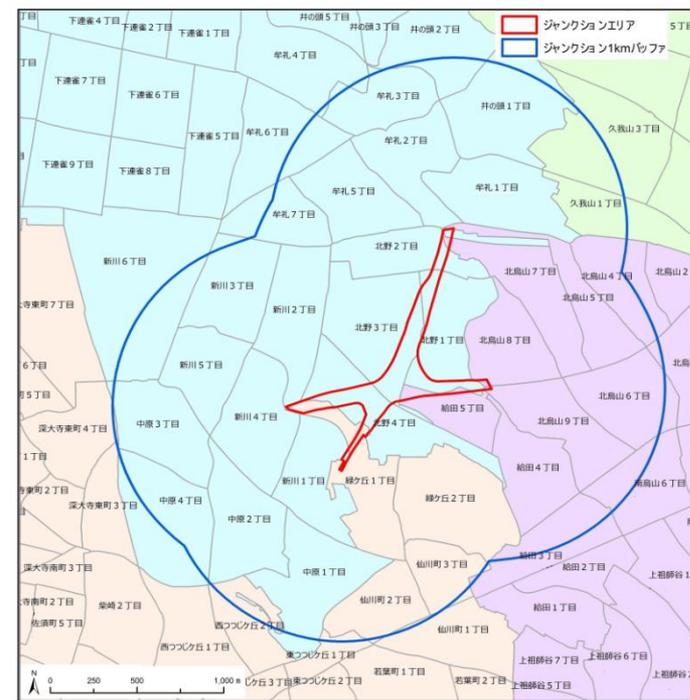
景観的特性



- 都市農地、公園、並木が存在する北野は**三鷹市の農風景を象徴する地域**である。
- ハピネスセンター前のケヤキ並木、農家の屋敷林、農地の**緑は**、北野のまちのシンボルであり、**地域住民の精神的な拠りどころ**となっている。
- 北野の農地は「農ある風景」**として、**三鷹市の原風景**となっている。
- 東八道路の沿道**は、商業等のにぎわいの**景観**が求められる。
- 新たな都市計画道路の沿道**では**農地や緑地と調和したまち並みの景観**が求められる。

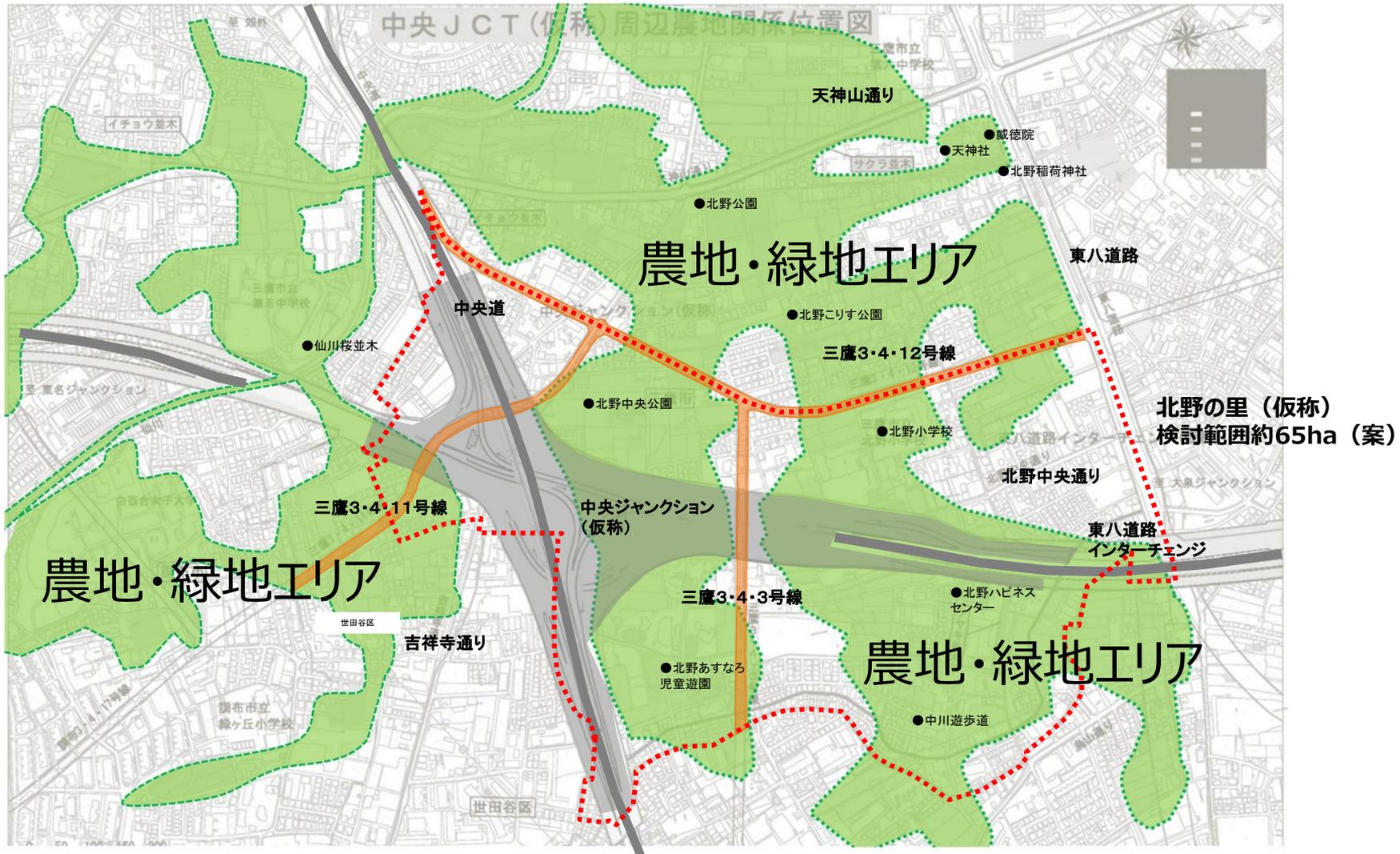
地域環境特性の整理

利用者層の想定



- 北野の里（仮称）の**1km圏内には三鷹市民約50,000人が在住している**。北野の里（仮称）の蓋かけ上部空間等は、**多様な「農」空間として、広域から利用者が来園する可能性**がある。
- 北野小学校、第6中学校などによる**農の取り組みが望まれている**。
- 公園管理や運営の取組み**に(株)三鷹ファームや花と緑のまち創造協会、ボランティア団体などの**各種団体が参加することが考えられる**。
- 利用者は、**公共交通機関又は自転車・徒歩が基本**となるが、**車での来園も一部施設により想定される**。また、**イベント時などにおける駐車場の検討が必要**となる。

既存の緑地と周辺農地の重ね合わせ図

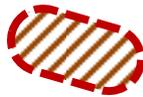


蓋かけ上部空間等を中心としたゾーニング（素案）

農・自然共生ゾーン



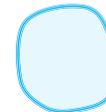
スポーツ・交流ゾーン



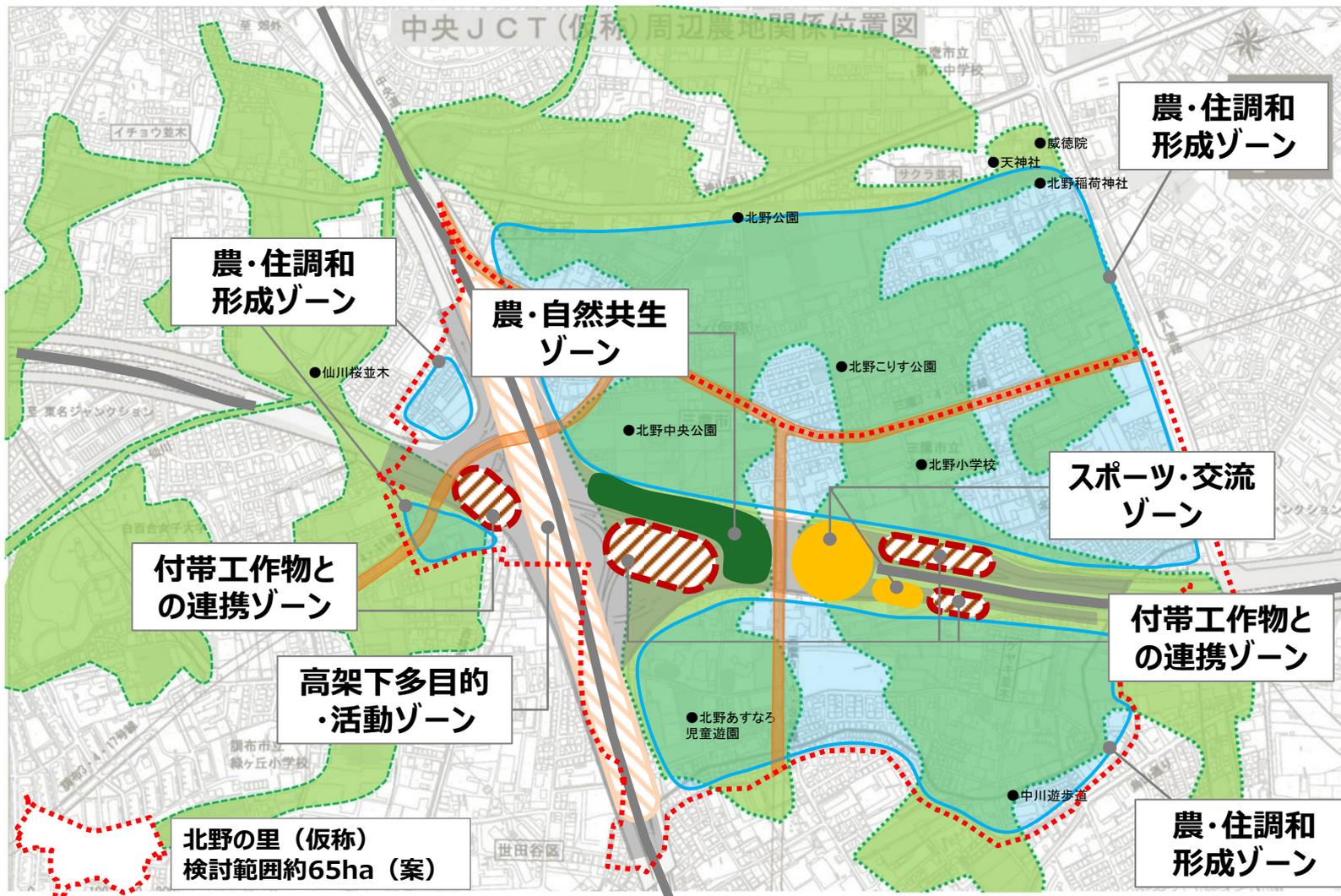
付帯工作物との連携ゾーン



高架下多目的・活動ゾーン



農・住調和形成ゾーン



各ゾーンにおける主な検討イメージ



野草の広場と散策路



農のようちえん



プレイパーク



高架下運動広場



高架下ちびっこ公園



せせらぎ水路とランニングコース



農家カフェ



軽トラマーケット



ファーマーズマーケット

